

トラック、バス、タクシー事業者、産廃/自社配送等、安全運転管理者選任事業所向け  
ICチップ内蔵運転免許証リーダーとアルコールチェックの活用実績

～ 2019年度、IC免許証リーダー選択率は6割超え、ALC-MiniIVは累計2000台超え～

飲酒運転ゼロ及び交通事故ゼロ社会に向けて安全システム機器を開発する東海電子株式会社（本社：静岡県富士市 代表：杉本 一成）は、この度、ICチップ内蔵運転免許証の活用に関する市場実績をとりまとめましたのでお知らせ致します。

記

1) ICチップ内蔵運転免許証とは？

[https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/menkyo/menkyo/menkyo\\_annai/ic.html](https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/menkyo/menkyo/menkyo_annai/ic.html)

ICチップ内蔵運転免許証は、2007年～2011年にかけて、47都道府県すべての免許証センターや警察署での発行が可能となり、いまや国内8200万人、すべての運転免許証は、ICリーダーがあれば、チップに保管されている情報を読む事が出来るようになっていきます。

H30年度統計 種類別運転免許証 合計 82,314,924人			
第二種免許	1,804,014人	大型	896,127人
		中型	876,636人
		普通	29,030人
		大型特殊	1,697人
		けん引	524人
第一種免許	80,510,910人	大型	4,242,389人
		中型	61,598,465人
		準中型	11,330,132人
		普通	2,056,160人
		大型特殊	1983人
		大型二輪	23,981人
		普通二輪	141,617人
		小型特殊	24,422人
		原付	1,091,761人



本籍欄はありません。

西暦と元号の併記表示です。

この部分にICチップが内蔵され、本籍情報等が記録されます。

<https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mes83080.htm>

出典：運転免許統計平成30年版

[https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/menkyo/h30/h30\\_main.pdf](https://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/menkyo/h30/h30_main.pdf)

2) IC運転免許証リーダーとは？

ICチップの内部情報は、社会で広く活用されることが期待され、その仕様書が民間に公開されています。免許証製造メーカーや、免許証リーダーメーカーは、これらに沿って、機器を開発しています。

○代表的な IC 免許証リーダー

<https://www.denso-wave.com/ja/adcd/product/ic/pr-700.html>

当社のアルコール測定システム ALC-PRO II は、アプリケーション上で有効期限チェックが出来るよう、デンソーウェーブ社のリーダーを、アルコール測定システムアプリケーションに組み込んでいます。

警察庁の仕様書は、以下のような道路交通法の改正や改元により、都度必要に応じて改版され、現在の仕様書は Ver8 となっています。

○ IC カード免許証の暗証番号の運用に係る留意事項について

暗証番号については、当初予想されていたよりも、失念者が多いことから、免許センターや警察署での取扱が変わった経緯があります。

<https://www.npa.go.jp/pdc/notification/koutuu/menkyo/menkyo20150820.pdf>

○ 元号を改める政令（平成 31 年政令第 143 号）が公布されたことに伴う所用の改正

[https://www.npa.go.jp/laws/notification/koutuu/menkyo/menkyo20190403\\_070.pdf](https://www.npa.go.jp/laws/notification/koutuu/menkyo/menkyo20190403_070.pdf)

## 2) バス、タクシー、トラック事業者、安全運転管理者選任事業所等の安全管理

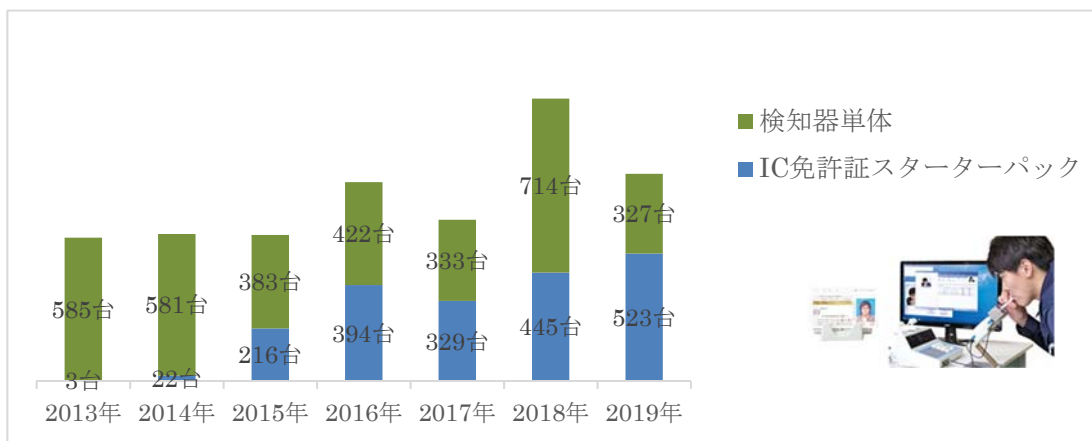
IC 運転免許証を活用する製品の代表例は、2011 年にアルコール検知器の使用が義務化された旅客自動車・貨物自動車運送事業であると言えます。主な使われ方は、券面の細工・表面コピーを見抜く、本人認証（照合）、有効期限チェック、点呼時の不携帯防止等です。

当社では、2011 年から、PC タイプのアルコール検知器と連動させる免許証認証装置として、それまでのスキャナ式の免許証リーダーから、IC 免許証リーダーに切り替えました。

また、2017 年 10 月から、PC を使わない、IC 免許証リーダー一体型（内蔵型）のプリンタ式アルコール検知器 ALC-MiniIV の発売を開始致しました。この度、IC 免許証を活用する 2 機種の市場実績をとりまとめました。

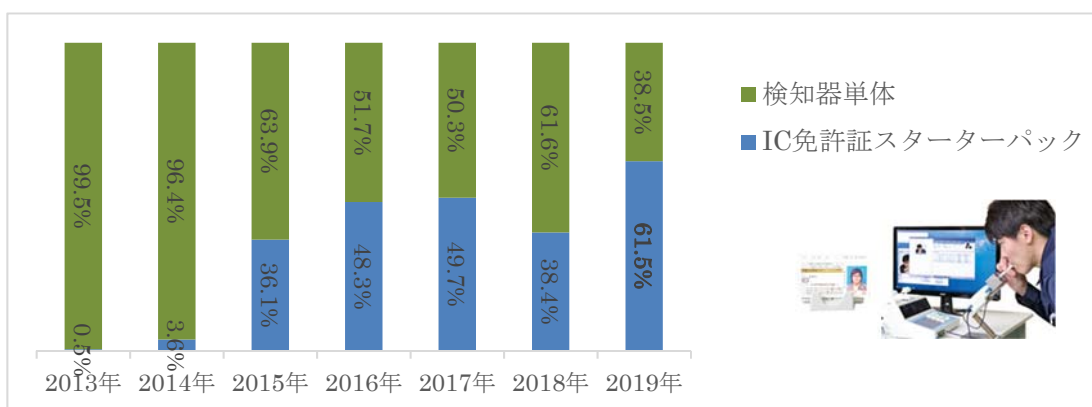
事務所型・据置式アルコール検知器	
<p>ALC-PRO II IC 運転免許証スターターパック</p>	<p>IC 運転免許証リーダー内蔵プリンタ型 アルコール検知器 ALC-MiniIV</p>
	
<p>不携帯防止×有効期限切れ</p>	<p>不携帯防止×有効期限切れ</p>

【ALC-PRO II 新規出荷における、検知器単体と IC 免許証リーダーパックの台数】



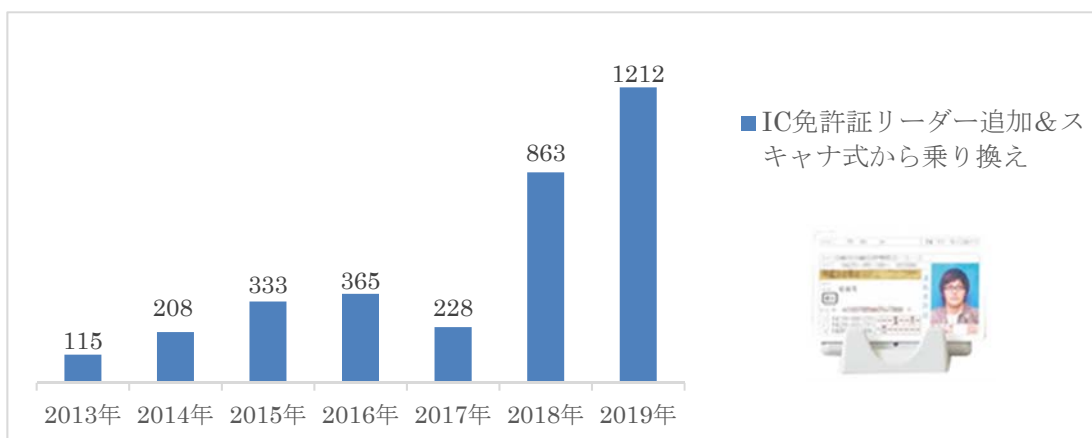
IC 運転免許証リーダーを選ぶ企業が増えてきています。4 年前から 200% 増に。

【ALC-PRO II 新規出荷における、IC 免許証スターターパック選択率】



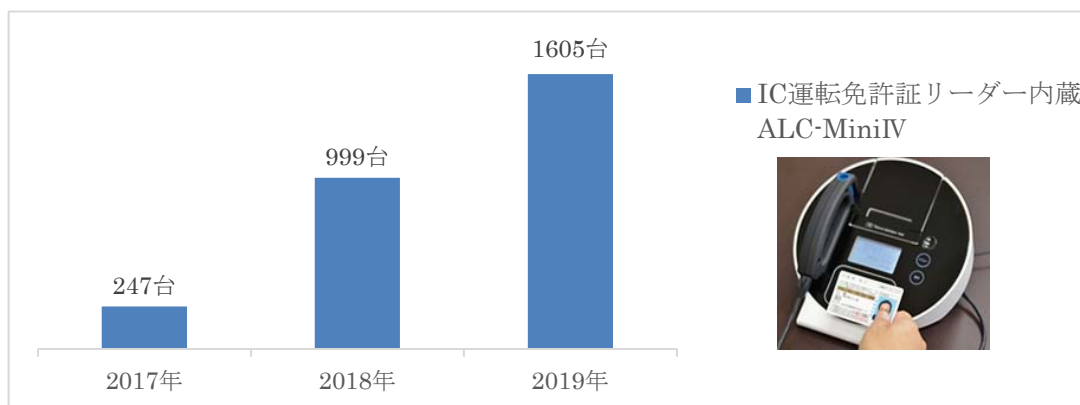
初期導入時から IC 運転免許証リーダーを活用する企業様が、増えてきています。ALC-PRO II 商談における IC 免許証の契約率は、2019 年度、ついに 6 割を超えました。

【あとから IC 運転免許証リーダーを追加&スキャナ式からの乗り換え】



IC 運転免許証はオプション品です。「まずはアルコール検知器運用→落ち着いたら免許証認証運用」という、グレードアップが可能です。追加台数も 5 年で 6 倍に伸びています。

## 【PC 要らず、IC 運転免許証リーダー一体型 ALC-MiniIV 出荷推移】



一体型（IC 免許証リーダー内蔵）ですので、PC を購入しなくても、購入したその日から、免許証チェックとアルコールチェックのダブル運用を開始出来ます。この手軽さから、最近では運輸業界のみならず、安全運転管理者選任事業者等に好評です。先月末で、2000台を超えました。簡易タイプのアルコール検知器から、免許証管理へ。一歩進んだ安全管理をしようという企業にとっての「安全運転管理 入門機」と言える一品です。

いまや運輸安全、交通業界では、アルコールチェックと免許証チェックは標準的な運用と言っても過言ではありません。運転免許証認証システムも、入門機と、ハイエンド機をご準備しておりますので、是非、ご検討ください。

○ALC-PRO II +IC 運転免許証リーダー（価格 税抜 398,000 円～）動画もご覧ください

[https://www.tokai-denshi.co.jp/products/ALC-PROII\\_1.html](https://www.tokai-denshi.co.jp/products/ALC-PROII_1.html)

○ALC-MiniIV（本体価格 税抜 128,000 円～）動画もご覧ください

[https://www.tokai-denshi.co.jp/products/ALC-MiniIV\\_1.html](https://www.tokai-denshi.co.jp/products/ALC-MiniIV_1.html)

○上記製品の付帯サービス、保守、校正価格については 総合価格表をご覧ください。

[https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/872\\_20200220105100\\_download\\_file.pdf](https://www.tokai-denshi.co.jp/app/usr/downloads/file/872_20200220105100_download_file.pdf)

以上

★★本件に関するお問い合わせ先、資料請求先★★

東海電子株式会社

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-13 オリピック第 3 ビル 203

TEL : 042-526-0905 /FAX : 042-526-0906

e-mail : info@tokai-denshi.co.jp

URL : http://www.tokai-denshi.co.jp